

〒184-8511 東京都小金井市桜町 1-2-20 / TEL042-383-4111 (代) [http:// www.sakuramachi-hp.or.jp/](http://www.sakuramachi-hp.or.jp/)**基本理念**

私たちはキリストのように人を愛し 病める人、苦しむ人 もっとも弱い人に奉仕します

基本方針

1. 地域医療機関と強い連携を保ち、地域に根ざした信頼される病院運営をめざします。
2. 全人的（身体的、精神的、社会的、霊的）ケアを行います。
3. 全職員のよいチームワークによる患者さん中心の医療を行います。
4. 常に自己研鑽に努め、質の高い、安全・安心な医療を提供します。
5. 患者さんの訴えに誠心誠意耳を傾けます。

年頭挨拶

院長 小林 宗光

新年明けましておめでとうございます。

日頃より桜町病院に多大なるご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

桜町病院では医療情報システムを拡大し、電子カルテシステムを導入いたします。現在は2月下旬の稼働を目指し、職員が一丸となって導入作業に鋭意努力しているところです。導入経費の負担も、導入作業の職員負担も大きいですが将来を見据えて電子カルテシステムを導入することにいたしました。電子カルテシステムは、紙カルテの電子化と位置づけられてきましたが、近年そのシステムは電子カルテの枠組みを超えて機能が充実したものになり、各部門システムが使用するマスターテーブルが一本化されて総合医療管理システムとなっています。当院の電子カルテシステムも看護支援システム、調剤管理システム、放射線情報システム、画像診断管理システム、臨床検査（検査管理）システム、リハビリ管理システム、栄養管理システム、検診管理システム、医事会計システムなど多くの部門システムから構築されています。チーム医療に必要な診療情報の共有、医療の安全性の確保、患者サービスの向上、業務の効率化などに大きく貢献できるシステムと考えております。ここで外来患者さんの受付から会計終了までをイメージしてみましょう。窓口にて用紙による新規患者さんを受付（再来の方は再来機で）⇒電子にカルテ登録⇒外来医師の端末へ情報転送⇒医師の診察⇒例えば診察を受けたところレントゲン検査が必要になったとしましょう、医師は端末でレントゲン検査をオーダー⇒放射線科の端末へ電子カルテ情報とオーダー情報が転送⇒患者さんは放射線科へ移動し、レントゲン撮影⇒電子レントゲンのデータが医師の端末へ転送⇒患者さんが戻る前に医師は画像診断が可能⇒患者さんが診察室へ戻ると診察を再開⇒診察が終わると会計窓口か自動精算機で清算をしていただきます。電子カルテシステムの導入に合わせて、外来待ち受け表示盤システム、会計表示盤システム、自動精算機も導入いたします。待ち時間が分かり易くなり、待ち時間の短縮にも寄与できるものと期待しております。

昨年日本を振り返れば東京オリンピックの招致、富士山の世界遺産登録と好材料はあったものの、震災復興は遅々として進まず、日本を取り巻く国際環境も不確実

性が増したようで、なかなか閉塞感から抜け出れないように思えます。そのうえ経済の持続的回復の道筋もまだはっきり見えてきません。病院にとって直接影響のある診療報酬の改訂が4月に予定されています。平成25年12月21日付の新聞報道によれば『政府は20日、2014年度予算編成の焦点となっていた診療報酬について、全体で0.1%のプラス改定とすることを決めた。ただ、同年4月の消費税増税対応分を除くと実質的にはマイナス1.26%で、6年ぶりのマイナス改定となった』とあり、今後も病院にとっては厳しい経営環境が続くものと予想されます。これまで以上に積極的な地域連携強化の取り組みが必要と痛感しています。病院、診療所、医師会との連携にとどまらず、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、福祉施設との顔の見える連携の仕組み作りも必要です。昨年はヨハネ会の諸施設の管理者の方々と連携の在り方についてミーティングを重ねてきましたので、それを実行に移していきたいと思えます。また病院に隣接した戸塚ホールを使用して、市民の皆さん向けに病気の管理や健康の増進に役立つ情報をお伝えする市民講座を開催していきたいと思えます。

患者満足度の高い、職員満足度の高い医療を展開していくためには、スタッフの充実と育成が引き続き重要なテーマです。昨年10月に消化器病専門医、内視鏡専門医の村田医師が消化器部長として赴任されました。4月には整形外科専門医の採用が予定されており整形外科の体制が整います。またこれまでも職員のスキルや知識を維持し高めていくために、必要となる研修、院外のセミナーや学会への参加を進めてまいりましたが、認定看護師の資格取得には長期の研修が必要となるため、また経済的にも個人では負担が大きいことから、今年から資格取得支援制度を設けて資格取得を病院として支援する体制を整えます。

「桜町マインドで優しく温もりのある安全・安心な医療の提供に心がける」という患者さんの視点に立った、患者さんに寄り添う医療の提供に今後とも努めてまいりたいと思えます。

桜町病院が地域の皆様から、これからも頼りにされ、開かれた病院として発展できますよう願ってやみません。

新年のご挨拶

副院長 瀬口 秀孝

2014年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、桜町病院を多くの方々にご利用いただき、また、小金井市医師会をはじめ近隣の医療機関には病診連携、病病連携等、日常の診療に多大のご協力をいただきありがとうございます。当院では今年、電子カルテの導入、各種医療機器の更新等を予定しており、また各診

療科もさらなる充実をめざしています。よりいっそう皆様のお役にたてる環境が整うのではないかと思います。4月には診療報酬の改定が予定されていますが、今回は、それぞれの病院の特徴、役割がさらに明確にされていくこととなるようです。そのような中で、この地域における桜町病院の役割をよく理解し、当院が掲げる、「患者さん中心の医療」、「質の高い安全・安心な医療」を実践することを、また、地域に根差した、地域の皆様から信頼される病院であることを目指して職員一同努力してまいります。今年もどうぞよろしくお願いたしました。

新しい年を迎えて

事務部長 富田 周次

新年明けましておめでとうございます。皆さんには健やかな新年をお迎えのことと存じます。

桜町病院は創立75年目の新春を迎えました。多くの皆さんに愛されて当院も長い間、当地域における医療提供の一端を担ってこられたことができたことを実感しております。今後とも患者さんに満足度の高い医療を提供し続けていくことができるよう、患者さんのご意見ご要望を伺いながら、医療の質の向上はもとより受診環境の改善に努めて参りたいと考えております。

この2月には病棟、外来ともに全面オーダリングシステムが稼働します。併せて電子カルテも始まります。外来順番表示盤や会計表示盤、自動精算機も稼働します。システムの変更に伴い受付から診療、会計までの流れ等の一部が変更になります。職員はこのシステムのスムーズな導入ができるように訓練を重ねております。患者さんには手順等について十分ご案内しご迷惑をお掛けすることがないように準備して参ります。どうぞシステム変更にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。この情報システムが安全な医療や患者サービスの向上に資する有効な手段として機能することを願っております。

本年もご指導ご協力をお願い申し上げます。

新年を迎えて

看護部長 奥野喜美子

昨年は、「おもてなし」が流行語となり、脚光をあびた年でした。私たち医療従事者は古くから「ホスピタリティ」=人との出会いを大切に、人から人へ、手から手へ、心から心へ伝える「おもてなしの心」=を大切にしてきたように思います。当院でも、「優しく温もりのある医療」をコンセプトとし、患者さんの声に耳を傾ける・患者さんの痛みや苦しみを理解する・患者さんの傍に寄り添うケアの姿勢を「桜

町マインド」とし、浸透するための活動としてスピリチュアルケア研修会やワークショップを開催して参りました。

今年は、看護部門の活動を通して、皆さまに「桜町マインド」を感じていただけるよう取り組みを進めてまいりたいと思っております。

また、昨年来、新医療情報システムの導入を検討し、看護部門でもマスタ作成や操作訓練など、精力的に取り組んでおります。新システムの導入により、より一層の患者サービスが提供できるよう職員一丸となって取り組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願いたしました。

職場紹介 放射線科

放射線科長 持田 清

放射線科は、瀬口副院長を部長とし、診療放射線技師6名、内(女性技師1名)、助手1名のスタッフで通常業務から小金井市の救急当番日、あるいは毎日のオンコールとそれぞれに対応出来るよう、体制を整えて業務に当たっています。

放射線科はCT、MRI、マンモグラフィ、透視用装置などの機器を備え、当病院における診療科全域の画像診断部門を担っています。各科全領域における疾病は多種にわたっています。それに対して其々先

生方の希望に即した画像の提供が必要となってきます。したがって、我々技師の撮影力、読影力といった全般における技術の向上が必須です。放射線科ではCT、MRI、MMG、胃がん検診などの撮影後、個人読影を励行し、後日読影専門医の報告書と照らし合わせてそれらを基に放射線科内でディスカッションを行い、日々技術の向上を促しています。

又、機器等整備委員会の協力のもと、なるべく短いスパンでバージョンアップを図り複雑化する疾病に対して医師の希望画像を反映できるよう努めています。それから小金井市の近隣の各医院からの依頼にも積極的に対応し、中核病院としての機器の提供も行い地域連携の医療にも貢献しています。

これからも、医師をはじめ各部門との連携を密にしてより良い医療の提供ができるよう努めていきたいと考えています。



<マンモグラフィ装置>



<16列マルチスライスCT>

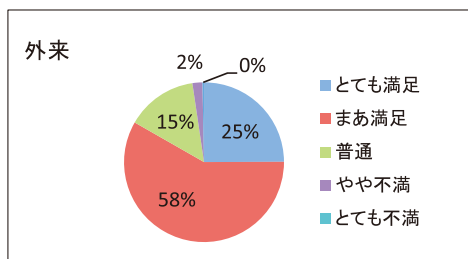
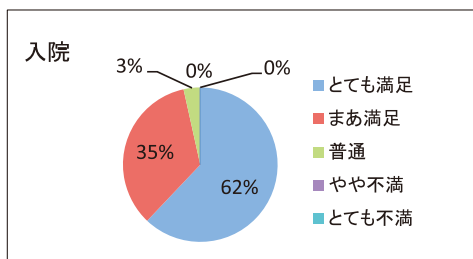
平成25年度患者満足度調査結果 (総合評価)

今年度行った患者さん満足度調査結果の概要をお知らせします。施設設備、待ち時間を含む療養環境、職員の言葉使いや態度、診療技術などの質問に対しご回答いただきました。その結果は別グラフのとおりです。

総じて高い評価をいただきましたが、改善を求めるとご意見もいただ

いております。

今後とも、少しでも患者さんに安全で安心な医療を提供していただけるよう、職員一同研鑽を積むとともに、サービスの向上に心がけていきたいと考えています。



	(人)	
	入院	外来
とても満足	54	85
まあ満足	30	199
普通	3	49
やや不満	0	7
とても不満	0	1
	87	341

新医療情報システム入れ替えについて

薬剤科部長（情報システム総括） 池淵 剛

平成17年8月の病院の建て替えと同時に導入し、引き延ばし策を講じながら8年が経過し、待たなしの状態まで来てしまった現行のオーダーリングシステム。今回、我々は、新しい医療情報システムの導入を計画しました。

まず今回の医療情報システムの導入目的として、「診療の質の向上、安全性の確保、患者サービスの向上、業務の効率化、経営健全化」など多くの点について考えました。一度導入すると長期運用されるシステムなので、その全ての目的に対応できるものとしなければなりません。

次に、医療情報システム導入の基本的な考え方として「現行の業務をそのまま電子化しない」「パッケージシステムをカスタマイズしない」ということが重要と考えました。当院の現行の業務の流れ自体が、明確で、効率良く作られているわけではありません。「人」は業務上発生する問題に対して臨機応変に対応し業務を遂行することができますが、システムではそのような対応は不可能になります。本来の業務は何か、誰が行うのかをワーキンググループで検討し、実行可能なものに業務を見直しました。また、システム導入時の作業時間の短縮、システムの陳腐化を防ぐためにパッケージシステムはできるだけカスタマイズしないこととしました。

計画に当たって大きな問題は予算でした。システム導入費・維持費用を医療収入とどこでバランスをとるか、費用がかさむと病院自体の経営に悪影響を及ぼす可能性もあり、限られた予算の中、システム導入費の多くが作業に当たるSEなどの人件費であることから、導入したシステムの稼働期間を延長することで、年間経費を下げることを可能にしました。つまり、10年間使用できるシステム（ソフトウェア）として考え、ハードウェアを5年程度で交換を考えシステム導入費を分散させることで経済的なシステムとしました。

経済性に配慮したシステムですが、安定性にも十分配慮しました。システムの停止は、すぐに診療業務の停止に繋がってしまうので、サーバーやネットワークなどの主要な機器は、故障に備えて2重化を行い、停電時でも非常用電源により最小限の機器の稼働を可能にしています。

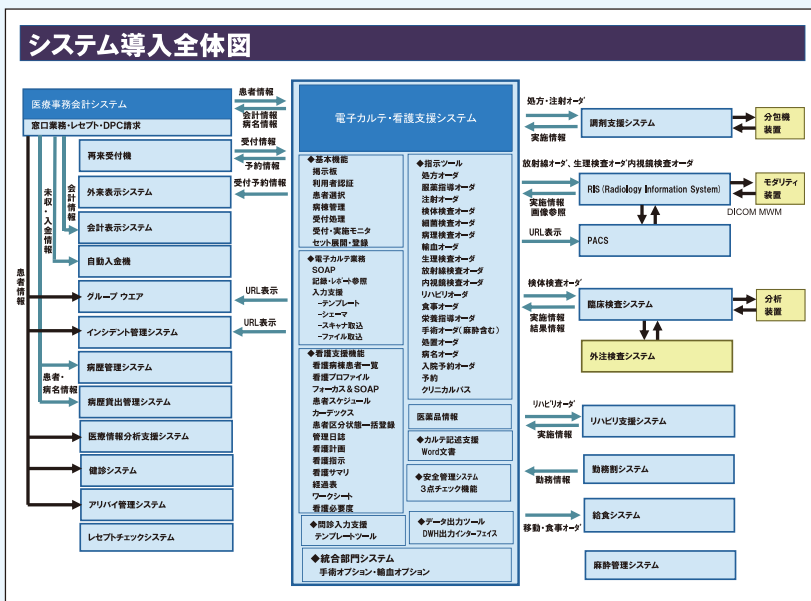
セキュリティー管理も個人情報の塊ともいえるカルテ情報を扱うシステムであればこそ、職

員のモラルだけでなく、システムでの制限をおこなっています

患者さまの安全確保のために認証システムを導入しました。また、患者さまアンケートの意見を参考にさせていただき、患者さまサービスのための機器を導入しました。これについては稼働後の様子を実際に見ていただくのが良いかと思えます。

病院内のシステム担当5人で、計画、仕様書などの案を作成し、各部門からの代表で構成されたシステム委員会で検討を重ねてきました。素人集団が、構築したシステムです、本稼働後しばらくの間は、ご迷惑をおかけすることになるかと思えますが、一歩一歩前に進んでいき、システムを導入してよかったと皆で思えるものになりたいと思っています。ただ、システム導入の話ベンダーと進めていく中で、「現時点での電子カルテシステムのパッケージは、病院職員の要望を十分に満たすには至っていないと感じました」というのは、言い訳になるのかもしれませんが。

今回のシステム入れ替えは、ソフトウェア・ハードウェアを入れ替えるだけでなく、病院内のデータの流れ、人の流れ、病院全体の仕組みを見直す良い機会になったと考えます。



トピックス

次期診療情報システムキックオフ会議開催

懸案事項となっていた診療情報システムに関する基本方針がまとまり、導入業者に決定した富士通との間で契約を取り交わした。

10月7日（月）、電子カルテを導入すること、病棟・外来のフルオーダーとすること、稼働を平成26年2月中旬とすること等を内容として、関係者多数の出席の下に聖ヨハネ会本館戸塚ホールに於いてキックオフ会議を開催した。

新システムにおいては、より安全な医療の提供につながることは元より、外来順番表示システム、会計表示システム、自動精算機等の新設により、患者サービスの向上に資するシステムの構築を目標に、2月稼働に向け最終の準備を行っている。

第49回日本カトリック医療施設協議会全国大会開催

10月25日（金）と26日（土）の両日、福岡県久留米市において第49回日本カトリック医療施設協議会全国大会が、全国各地のカトリック



医療施設から200名近い職員の参加の下に開催された。事例発表では当院からは、療養病棟中村師長から「高齢患者における胃瘻造設を代理決定した家族の時系列における意識変化」の研究発表が行われた。

桜町病院合同慰霊祭実施

平成25年度桜町病院合同慰霊祭が、ご遺族、職員合わせて約200名の参列のもと11月4日にカトリック小金井教会でディン神父の主宰の下に厳かに行われた。慰霊祭では、一昨年9月から昨年8月までに当院関係で亡くなった212名の御霊にお祈りを捧げるとともに、参列者全員による献花が行われ、白菊の花が一人ひとりの手により供えられた。



防災・防火訓練実施

11月15日（金）午後2時から直下型地震を想定した通報連絡訓練として各職場からの被害状況報告訓練を実施した。その後、北4階病棟洗濯室から火災が発生したとの想定により、院内通報、排煙、初期消火、避難誘導の各訓練を実施した。毛布やシーツを使っての想定患者誘導訓練や消火器を使っての初期消火訓練では新たな気付きや大変さを学ぶよい機会となった。

風邪予防

栄養科長 松尾 敦子

空気が乾燥し、風邪にかかりやすい季節がやってきました。免疫力を高める食べ物を積極的にとり、風邪をひきにくい体づくりをしましょう。

★ビタミンC 免疫力を高めます

いちご・みかん・キウイフルーツ・プロقوقリーなど

★発酵食品 腸内環境を整え、免疫力をアップさせます

みそ・納豆・ヨーグルトなど



★ビタミンA 鼻やのどの粘膜を保護します

かぼちゃ・人参・ほうれんそうなど

★香味野菜 体を温め発汗を促し、免疫細胞が活性化されます

ねぎ・にんにく・生姜など

偏った食生活は栄養不足がおこり、

免疫力が低下し風邪にかかりやすくなります。

バランスのとれた食事（主食＋主菜＋副菜の組み合わせ）をこ

ころがけることも大切です。



手洗い・うがいも忘れずに！！

母親教室のご案内

妊娠や出産について必要な知識や実際に役立つ情報を学び、お友達を作り、充実したマタニティライフを過ごしていただくために、当院では合計3回の母親教室を開催しております。第1回目は、妊娠16週以降の方、第2回目と第3回目は妊娠30週以降の方が対象です。産婦人科医師、小児科医師や助産師等がお話し、悩みや不安を解消するお手伝いをします。各回の内容については申込時や当院のホームページでご確認ください。各回ともご主人の参加が可能です。

お申込み 予約制となっておりますので、ご希望の方は、2階外来受付にお申し出ください。
開催日時 第1回目：毎月第2火曜日
第2回目：毎月第3火曜日
第3回目：毎月第4土曜日
各午後1時30分～午後4時
受付：午後1時15分～1時30分

場所 桜町病院別館3階
持ち物 母子健康手帳、筆記用具、母親学級資料（第1回目に配布したもの。）、アンケート用紙（第1回目のみ、お持ちでない方は当日お渡しします。）
料金 無料です。
病棟見学 病棟見学は、第1回目・第2回目の15時30分から予定しております。ただし、インフルエンザ等の流行期には映像でのご案内になることがありますので、ご了承ください。
ご注意 第2回・第3回は、当院での分娩を予定している方に限ります。祝日等により日時を変更することがありますので、予約時にご確認ください。

まなざしのご案内

まなざしは当院で出産後6ヶ月までのお母さんを対象とした子育て支援の会です。お母さんのお友達作りの場を提供しながら、赤ちゃんのことや子育てについて小児科医や助産師が気軽に相談に応じています。毎回30～40名程の参加があります。

お申込み 産科退院時に予約して下さい。
開催日時 第2、第4水曜日 午後1時～午後3時
場所 桜町病院別館3階
料金 無料です。

ブライダルチェックのすすめ

産婦人科部長代行 高江洲陽太郎

結婚し子供を授かりたいと願うことは女性にとって自然なことです。

しかし、近年晩婚化がすすみ結婚後に挙児希望があってもなかなかスムーズに妊娠に至ることが難しくなってきました。それまでに、婦人科を受診する機会がなかったため、婦人科疾患を患っていても気づかず過ごしている方も少なくないためです。そのため、結婚後に受診した場合、不妊のために手術が必要な方や、妊娠中に手術を行う方もいます。もちろん、妊娠中の手術は母体・胎児にもリスクを伴います。

今後、ご結婚の予定のある方、また自分の状態を調べてみたい方、今一度、ご自身の身体だけでなく、大切なパートナーや生まれてくる赤ちゃんのために検査を受けてみてはいかがでしょうか？ブライダルチェックはそんな女性を支えるための検査です。

基本的な血液検査、子宮頸がん検診、感染症検査（肝炎、HIV、梅毒、クラミジア検査、風疹抗体など）、超音波検査（子宮筋腫、卵巣嚢腫など）を行っています。どうぞお気軽にご相談下さい。

ホスピス外来のご案内

ホスピス外来は、完全予約制で、月、水、金の午後に行っています。積極的ながん治療を終え、ホスピス病棟に入院をご希望される患者さんを対象とした外来です。ホスピス医がご相談をお受けし、必要に応じてホスピス病棟の入院予約を行います。診察ご希望の方はホスピス相談窓口へお電話下さい。



（ホスピス棟玄関）

なお、混み合っている場合には外来診察日は2ヶ月以上先になることがあります。キャンセルが出た場合やご病状により日程を早めることもありますので、お申し出ください。

ご相談専用 ☎042-388-2888
受付時間 月～金 9:00～12:00
14:00～17:00

産婦人科4D超音波外来のご案内

産婦人科部長代行 高江洲陽太郎

4D超音波とは通常行っている妊婦健診の超音波画像を立体的、さらに経時的に映像でお見せするものです。立体的に見えるため、赤ちゃんの表情や手足の状態をよく観察することができます。これから生まれるお子さんの表情を写真におさめておくのはいかがでしょうか？今だけしか見ることができない赤ちゃんの写真をプレゼント致します。

現在4D外来は月曜日の午後3～4人予約制で行っております。おススメは妊娠20週～26週頃です。胎児の姿勢や向き（うつぶせ状態など）によって表情をうまく観察できない場合もあります。

ご家族と一緒にどうぞお気軽にご相談下さい。

患者さんの権利と責務

患者さんの権利

1. 人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
2. どなたでも、どのような病気でも平等かつ公平な医療を受ける権利があります。
3. 病状と経過、検査や治療の内容について、分かりやすい言葉で説明を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報に基づき、自らの意思で医療内容を選ぶ権利があります。
5. セカンド・オピニオンを希望される場合は、当院は快く診療情報を提供します。

患者さんの責務

1. 病状などに関する情報提供に努める責務
ご自分の症状や健康に関する詳細で正確な情報を医師や看護師等へ提供することにご協力ください。
2. 適切な医療行為が提供できるように努める責務
病院内では、他の患者様等に迷惑にならないように静粛を保つとともに、当院職員が適切な医療を行えるようにご協力ください。
3. 病院秩序を守る責務
病院内の秩序を守るために、当院の諸規則に従ってください。
4. 診療費支払いの責務
病院は診療報酬によって運営されています。医療費の支払い請求を受けた時は速やかなお支払いにご協力ください。

編集後記

明けましておめでとうございます。

今年、昭和初期に戸塚文脚師が結核等により苦しんでいる貧しい人々を支援するために桜町病院を設立してから75年目となりました。この節目の年に当たり、これまでの先人のご労苦を振り返り感謝するとともに、患者さんの満足度の高い医療を提供するために努めて参りたいと存じます。

今年、災害もなく未来に明るい希望が持てる年となることを願っています。

（周）